

和歌山だより

2024年 第182号
(令和6年)

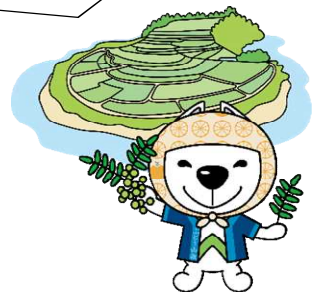


あらぎ島（有田川町）

日本の棚田百選や国の重要文化的景観にも選定されている「あらぎ島」。四季折々の様々な風景で見る者を楽しませてくれる、本県が誇る景観スポットの一つです。4月下旬～5月上旬は、田植えに備えて水が張られ、水面が鏡のように真っ青な空や星空を映し出します。
(写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENT

- 1 知事メッセージ p. 1
- 2 和歌山県政トピックス p. 2 ~ 11
- 3 お知らせ p. 12 ~ 17
- 4 ふるさと歳時記 p. 18



紀伊山地の霊場と参詣道 世界遺産登録 20 周年

今年、高野山や熊野三山などが世界遺産に登録されて 20 年目の記念すべき年です。高野山は弘法大師空海が開いた真言密教の聖地であり、敵味方の戦国武将のお墓が仲良く並んでいる不思議なパワースポットでもあります。熊野古道は「小栗判官・照手姫」の物語で象徴されるように、チャレンジの方が快適に旅行できる「ユニバーサル・ツーリズム」の発祥の地です。また、霊場は女人禁制が普通でしたが、「熊野詣」は女性にも開放されており、1300 年前からジェンダー平等でした。

先般、「令和の熊野詣」の出立式を京都の城南宮で行いました。院政期に白河上皇、鳥羽上皇、後白河上皇、後鳥羽上皇が 150 年ほどの間に、合わせて 90 回以上も熊野御幸を行いました。今回は、白河上皇が、熊野御幸で大先達を務めた増誉大僧正に寺院を与え聖護院と称した故事にならい、聖護院門跡の宮城泰年門主を大先達の役で、上皇役は不肖私、女院役を俳人の黛まどかさんをお願いしました。

この出立式を再現するために学術的な研究を深めホストしていただいた城南宮の鳥羽重宏宮司には感謝しかありません。千年を超える時の流れと人のご縁に、柄にもなく緊張しました。

紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産登録 20 周年をきっかけに「聖地リゾート！和歌山」の魅力を内外に発信し、観光立県和歌山にたくさんのお客さまをお迎えしたいと思います。

和歌山県知事 岸本 周平



3/26 知事定例記者会見にて

●「台湾東部沖地震義援金」の募集について

2024（令和6）年4月3日に発生した台湾の東部沖沿岸を震源とする地震により、犠牲となられた方々に深い哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

県では、この度の地震による被災者を支援するため、義援金を募る運びとなりました。お寄せいただいた義援金は、台北駐大阪経済文化弁事処へお届けする予定です。皆さんの温かい御支援をよろしくお願いします。

台湾東部沖地震義援金

◎受付期間 2024年6月28日（金）まで

◎義援金受入口座

金融機関	口座番号	口座名義
紀陽銀行県庁支店	普通 0418439	台湾東部沖地震義援金
きのくに信用金庫本店営業部	普通 2687184	
和歌山県信用農業協同組合連合会本所	普通 0009451	

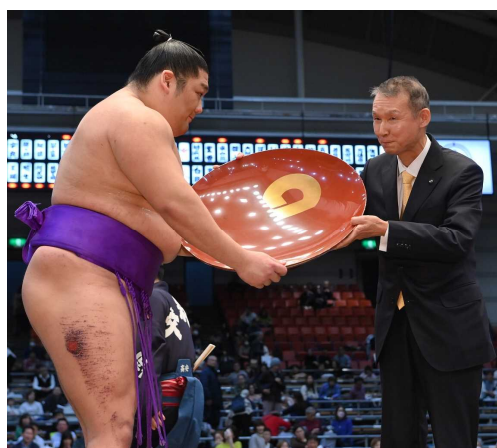
* 義援金の課税上の取扱い及び手数料等の詳細は、
県国際課ホームページ（右QRコード）を御覧ください。



●大相撲三月場所で「和歌山県知事賞」を贈呈しました

3月10日から24日までエディオンアリーナ大阪で開催された大相撲三月場所の幕内優勝力士に対し、和歌山県知事賞を贈呈しました。

3月24日の千秋楽、優勝力士決定後に行われた表彰式において、右足首にけがをしながらも、新入幕で初優勝という110年ぶりの快挙を達成した尊富士たけるふじに、知事から本県の特産品である根来塗の大盃と保田紙で作成した賞状を贈呈しました。また、賞金のほか副賞として和歌山県産の果物の中から、味一みかん、あら川の桃、新秋柿をそれぞれが旬を迎える季節にお届けしていきます。



表彰式で尊富士に大盃を贈呈する知事

県では、古くから相撲競技に力を入れており、多くの力士を輩出しています。

今後、本県出身力士にも、是非和歌山県知事賞を知事から受け取っていただきたいと思っております。

●2023(令和5)年度(第16回)プレミア和歌山推奨品が決定しました!

県では、2008(平成20)年度から県産品のブランド力強化を図るため、農林水産物、加工食品、産業製品などの“和歌山のめぐみ”の中でも特に優れたものを和歌山県優良県産品「プレミア和歌山」として認定し、推奨しています。

そして、推奨品に認定されたものの中から、全国レベルの訴求力を持ち、プレミア和歌山全体の知名度向上に寄与する商品に「プレミア和歌山推奨品審査委員特別賞」を授与し、特別賞に次ぐ特に優れた産品に「プレミア和歌山推奨品審査委員奨励賞」を授与しています。

3月4日に2023(令和5)年度プレミア和歌山推奨品発表会を開催し、審査委員会委員長の残間里江子さんから特別賞・奨励賞の発表と表彰を行いました。

今回も素晴らしい品々が出揃っております。皆さん是非お買い求めください。

なお、和歌山県産品推奨制度として、プレミア和歌山は、これまでの16年間で約450事業者1,300を超える県産品を認定し、種々の成果を挙げてきました。その一方で課題も見えてきたことから、2025(令和7)年度からプレミア和歌山に代わる新たな推奨制度を設け、県産品の推奨を行う予定としております。



受賞者の皆さんと残間委員長と知事

■特別賞 受賞推奨品

梅と紫蘇(株式会社うめひかり)

素材は南高梅と天然塩と赤紫蘇のみ。ご飯に合う甘くない梅干しです。完熟して自然落下した南高梅だけを使用しているため、皮が柔らかくフルーティな香りが特徴。徳島県から取り寄せた葉が細かくて香りの良い赤紫蘇と一緒に漬けています。

天日干しの後、熟成させてまるやかになった口当たり、赤紫蘇の香りをお楽しみいただけます。(塩分約15%)



<審査委員評>

- ・昔ながらの酸っぱい梅干しが良い。
- ・事業者の就農、そして商品開発のストーリー性が素晴らしい。

■奨励賞 受賞推奨品



【そのまんま梅の床】
(てらがき農園)



【ウメ缶 どんなときもウメとごはん】
(永岡食品株式会社)



【JAPANESE CRAFTLIQUEUR くまの】
(プラム食品株式会社)

プレミア和歌山ホームページはこちらから御覧いただけます⇒



●世界をめざして！ 第15期ゴールデンキッズ修了式を開催しました

この度、将来トップアスリートとしての活躍が期待される「ゴールデンキッズ」第15期生36名（男子20名、女子16名）が3年間の育成プログラムを修了しました。

県では、2006（平成18）年度から県内の優れた素質を有することもたちを早期に見出し、発達段階

に応じた「育成プログラム」を展開することで、将来オリンピックをはじめとする国際舞台で活躍する競技者を育てることを目的とした「ゴールデンキッズ発掘プロジェクト」を開始しています。

2023（令和5）年度で18回目を迎えたこのプロジェクトでは、今回の修了生を含め561名が修了し、国際大会や全国大会で活躍しています。

修了式では、知事から修了証の授与や記念品の贈呈を行い、これまでの活動を記録したDVD映像が上映された後、まつむられな松村怜奈さんとわたなべゆうき渡辺侑紀さんが「ゴールデンキッズで学んだ積極性を忘れず、何事にも挑戦していきます」と力強い「代表のことば」を述べました。

こどもたちはいつの時代も明るい未来に向かって成長していく私たちの希望です。これからも世界のトップアスリートを目指すこどもたちを支援するとともに、世界で活躍する修了生の皆さんを様々な方法により支えていきます。



修了証を手にする第15期生の皆さん

■ゴールデンキッズ修了生の2023(令和5)年度の主な活躍

(敬称略)

期	競技名	氏名	大会名/成績
1	レスリング	吉田 隆起	2023年全日本社会人選手権 男子フリースタイル86kg級/2位
5	カヌー	小林 実央	日本選手権大会 令和5年度日本カヌースプリント選手権大会 成年女子 WC-1 200m/1位 WC-2 200m/1位
7	空手道	武田 桜花	第51回全日本空手道選手権大会 女子団体組手/優勝
8	サッカー	北野 颯汰	FIFA U-20ワールドカップ アルゼンチン2023/出場
	ハンドボール	橋本 真緒	女子ジュニア(U-20)日本代表選手 第17回女子ジュニア アジア選手権/3位
9	ソフトテニス	堀 早弥夏	第48回全日本高校選抜ソフトテニス2023/優勝
12	ハンドボール	東谷 昊祐	第52回全国中学校ハンドボール大会/優勝
15	空手道	曾和 咲良	第41回オープントーナメント全日本空手道選手権大会2023 小学6年女子重量級38kg以上/優勝

●「紀伊山地の霊場と参詣道 世界遺産登録 20 周年記念サミット」を開催しました！

和歌山、三重、奈良の三県は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」を中心とした紀伊半島地域の観光振興と地域活性化を図るため、世界遺産等を活用した事業を共同で推進する「吉野・高野・熊野の国」事業に 2010（平成 22）年から取り組んでいます。

今年の 7 月 7 日に「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録 20 周年を迎えることを記念し、この度、メディア関係者や旅行事業者等を対象としたサミットを開催し、約 180 名が参加しました。

約 180 名が参加した本サミットでは、「死ぬまでに行きたい！世界の絶景」プロデューサーで、昨今の“絶景”ブームを牽引する詩歩^{しほ}さんに、「紀伊山地の霊場と参詣道」の絶景スポットをテーマにトークショーを行っていただきました。

そして、沿線市町村長による地域の魅力紹介後に、「世界遺産登録 20 周年の取組と今後の連携」をテーマとして、三県知事と詩歩さんによる記念トークセッションが行われました。



三県知事と詩歩さんによる記念トークセッション

セッションで知事は、高野・熊野に代表される Spirituality（精神性）、深い森や豊かな海に象徴される Sustainability（持続可能性）、そこから生み出される Serenity（静謐さ）という 3 つの“S”が本県の観光資源の特徴であること、これらの要素が揃う本県は、古くから神々の宿る聖地であると同時に、豊かな自然に育まれた文化や歴史、温泉、食、アミューズメントなど多彩な聖地を生み出し、訪れた人々の心や体を癒やすリゾート地としても親しまれてきたこと、そして、新しく作った観光キャッチフレーズ「聖地リゾート！和歌山」に込めた思いなどについて話しました。

県では、世界遺産登録 20 周年を契機として、「聖地リゾート！和歌山」のキャッチフレーズのもと、県内全域で観光産業を盛り上げるとともに、国内外から多くの方々に来県いただけるように様々な施策を展開していきます。



詩歩さんによる記念トークショー

●2023(令和5)年度和歌山県発明考案表彰式を開催しました

県では、優れた発明、考案によって科学技術の改善や向上に貢献した方々の功績を讃えることにより、発明考案意識の高揚を図り、県内産業の振興や県民生活の向上、本県の文化の発展に寄与することを目的として、1997(平成9)年度より「和歌山県発明考案表彰」を行っています。



受賞者の皆さんと知事

この度、優秀な発明や創作により科学技術の向上に寄与し、県内産業の振興に貢献した11名(7件)の方に発明賞を、優れた創意工夫によって生産技術の向上等に貢献した2名(2件)の方に創意工夫功労賞をお贈りしました。



謝辞を述べる高岡代表取締役社長

式典では、受賞者を代表して株式会社タカショーのたかおかのぶお高岡伸夫代表取締役社長が、「この度の受賞は、我々の向上心を強く刺激してくれるものであり、受賞者だけでなく、県内の他の事業者にも波及し、県勢の浮上に寄与するものである。この榮譽を糧に、一層精進したい」と謝辞を述べられました。

県では、受賞者の皆さんのように、失敗を恐れずに試行錯誤を繰り返し、新たな価値を創造する方が今後も現れ、本県の産業をけん引していただけることを大いに期待しています。また、あらゆる分野で絶えずイノベーションが起こる環境作りに努めるとともに、技術開発や新たなビジネスへのチャレンジを全力で支援していきます。

■受賞者一覧

(敬称略)

賞	受賞者	所属企業	発明・業績の名称/概要
発 明 賞	堀口 竜助	紀州技研工業株式会社	<名称>インクジェットプリンタ <概要>被印字物から跳ね返る微細なインク粒子のヘッド内部への侵入を最小限に留めることのできるインクジェットプリンタヘッドを開発
	角谷 太基	株式会社サンコー	<名称>蓄光マットの製造方法 <概要>マット本体に、直接蓄光部を設けることで、製造工程を省力化した蓄光マットの製造方法を開発
	山野 浩稔 森田 真人	株式会社島精機製作所	<名称>編地の引き下げ装置 <概要>前後一対の編地の引下げ装置を互いに離間させる動作を、引下げ装置上方に設けた案内板の揺動のみで行い、横編機の小型化を実現
	高岡 伸夫	株式会社タカショー	<名称>乾式堀 <概要>従来のブロック施工より、倒壊時の安全性や施工性が優れた発泡材を下地とした軽量の乾式堀の開発

賞	受賞者	所属企業	発明・業績の名称／概要
発 明 賞	藤田 紗与 我藤 伸樹 門脇 昭夫	中野BC株式会社	<名称>新規梅酒の製造方法 <概要>完熟ウメ本来の桃様のフルーティな香りを含み、かつ種由来の香りと褐色化を抑えた梅酒の製造方法を開発
	井戸端 康宏	ニッテイド株式会社	<名称>肉厚部を備えた横編地の編成方法、及び肉厚部を備えた横編地 <概要>からだを支える足裏の3つのアーチをサポートする機能を備え、クッション性を持たせた横編地の編成方法を開発
	西田 耕平 深谷 健人	ワコン株式会社	<名称>保冷空間の保冷方法 <概要>移送用の保冷コンテナケース内を間仕切りによって異なる設定温度にした際の、設定温度を下回る低温を抑制できる保冷方法を開発
創 意 工 夫 功 労 賞	山崎 一矢	株式会社インテリックス	<名称>出荷工程における作業者の負担減を目的とした出荷システムの構築 <概要>出荷時の搬送作業において、身体的負担の大きい工程を見直し、従業員の作業負担軽減を実現
	土屋 典子	株式会社和環	<名称>脱水症状及び暑さ体感を軽減できるハッサク果皮抽出物の開発 <概要>和歌山県産ハッサク果皮からオーラプテンを含む機能性成分を効率よく抽出できる加工技術を開発。熱中症の予防が期待できる「ハッサク果皮抽出物」として製品化

●企業誘致等の実績について（2024(令和6)年1月～3月）

本県の企業誘致等の取組について、1月～3月の実績を御紹介します。

① 株式会社日本ユニスト

同社は、2011（平成23）年に設立した企業で、不動産の売買・開発や不動産活用に関するコンサルティング、ホテル運営事業等を実施しています。

今回新たに開設するシステム開発拠点では、全国複数拠点の宿泊施設を予約可能とするシステムの開発・保守等を行う予定です。同システムにより、利用者は全国の複数の宿泊施設を一度に予約できるため、より自由かつ手軽に周遊旅行が可能となります。

また、ITエンジニアを目指す若者の雇用創出が期待されます。

■企業概要

株式会社日本ユニスト（大阪府大阪市西区立売堀1-4-12 立売堀 SQUARE 2階）

代表者：代表取締役 今村 互忠

設立年月：2011（平成23）年5月2日

資本金：5,000万円 従業員数：44名（2023年11月現在）

事業内容：不動産業（不動産の売買・開発、コンサルティング等）

ホテル運営（熊野古道沿いの宿泊施設「SEN.RETREAT(センリトリト)」等）

■進出概要

事業所名：株式会社日本ユニスト 和歌山オフィス

進出場所：ライフビル 2・3階（81.77㎡）

（和歌山市美園町5-4-6）

雇用予定：正社員10名、非正社員2名

（全て地元雇用）（3年間）

事業内容：システムの開発及び保守等

操業時期：2024（令和6）年2月1日



1.11進出協定調印式にて
（左から）知事、今村代表取締役

② 田村薬品工業株式会社

誘致企業である田村薬品工業株式会社が橋本市の紀北橋本エコヒルズ「紀ノ光台」にある紀ノ光台工場の増設を決定し、この度、協定を締結しました。

薬のまち道修町（大阪市中央区）に本社を置く同社は、医薬品・医薬部外品及び健康食品、清涼飲料水の製造・販売を手掛ける総合医薬品製造メーカーであり、大手製薬企業製品の受託生産を行うとともに、研究開発した自社製品の製造・販売を行っています。

また、事業目的として定める「未来にチャレンジする健康開発企業」を実現するため、創薬体制の刷新、受託事業の拡充を図り、顧客ニーズに迅速に対応できるシステムの構築に取り組んでいます。

今回、大手製薬企業からの受託生産の更なる増加が見込まれることから、医薬品の製造管理及び品質管理の世界基準（GMP）に対応した最新鋭の紀ノ光台工場を増設する運びとなりました。

■企業概要

田村薬品工業株式会社（大阪市中央区道修町2-1-10）

代表者：代表取締役社長 田村 大作

創業年月：1934（昭和9）年3月1日 設立年月：1948（昭和23）年6月26日

資本金：6,000万円 売上金：85億200万円（2023（令和5）年12月期見込み）

従業員数：408名（正社員334名、非正社員74名）

業務内容：医薬品・医薬部外品の製造販売

■計画概要

所在地：橋本市紀ノ光台三丁目2-1（現紀ノ光台工場敷地内）

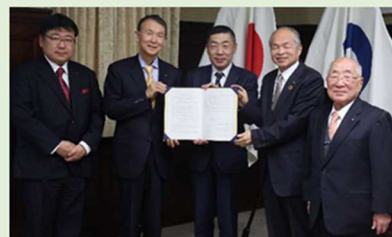
敷地面積：49,016㎡ 延床面積：2,889㎡

雇用予定：正社員11名（3年間）

投資額：約29億1,000万円

業務内容：医療用医薬品の受託製造

操業時期：2025（令和7）年4月操業開始予定



2.5協定調印式にて

（左から）田村専務取締役、知事、田村代表取締役社長、平木橋本市長、田村会長

③ 株式会社NTN紀南製作所

西牟婁郡上富田町に本社を置く株式会社NTN紀南製作所が、上富田企業団地内に第3工場を増設するにあたり、この度、進出協定を締結しました。

同社の企業母体であるNTN株式会社は1918（大正7）年の創業以来100年以上にわたり、ベアリングの総合メーカーとして、あらゆる産業分野で幅広い事業活動に取り組んでいます。

同社は、ベアリング製品の鍛造・旋削加工を中心とした前工程加工を担う事業所として1975（昭和50）年に創業し、同社で生産される製品は、国内外にあるNTNグループの各事業所へ供給され、NTNブランドの優れた品質がもたらす、ゆるぎない信頼に応えています。

今後、自動車等のベアリング需要に対応し、同社が培った鍛造・旋削等における高い技術を活用した高品質の製品を増産するため、大規模な設備を導入し、第3工場を増設することとなりました。

■企業概要

株式会社NTN紀南製作所（西牟婁郡上富田町生馬2504-1）

代表者：代表取締役 植本 清司

設立年月：1974（昭和49）年1月 創業年月：1975（昭和50）年4月

資本金：4億5,000万円

売上高：92億7,300万円（令和5年3月期）

製造拠点：第1工場（上富田町）

第2工場（上富田町）

従業員数：216名（正社員158名、非正社員58名）

業務内容：軸受部品・自動車部品の鍛造及び旋削加工

主な取引先：NTN株式会社、NTNグループ、高雄工業株式会社、松阪精工株式会社

■進出計画概要

進出場所：西牟婁郡上富田町生馬294-32（上富田企業団地内）

敷地面積：7,486㎡ 延床面積：3,776㎡

雇用予定：正社員14名（3年間）

投資額：約10億円（建物・設備）

操業時期：2024（令和6）年11月予定

● 県移住情報サイト「わかやま LIFE」をリニューアルしました！

この度、移住を検討している方々に向け、本県への移住に関する情報を総合的に発信する情報サイト「わかやま LIFE」をリニューアルし、現地訪問や関係人口創出に関するコンテンツや、ゲストハウスを活用した現地滞在をテーマにしたインタビュー動画を公開しました。

「わかやまLIFE」リニューアルのポイント

(1) 「MEET」 カテゴリーを新設

和歌山の良さを知ってもらうためには、地域の人々との交流が大きなポイントであるため、「人に会う」ことができるサービスを中心としたカテゴリーを作成しました。

「人に会う」MEET コンテンツ

- ① 「わかやま現地案内」に行ってみよう！
- ② 「ゲストハウス」に泊ってみよう！
- ③ 「しごと・暮らし体験」に参加してみよう！
- ④ 「短期滞在施設・農泊」してみよう！
- ⑤ 「二地域居住/テレワーク/ワーケーション」
- ⑥ 「わかやまcrew」参加してしよう！



(2) 『「わかやま現地案内」に行ってみよう！』ページを設置

わかやま移住定住支援センターで実施中の「現地案内サービス」について、移住検討者の方々がより利用しやすいよう、情報を整理しました。



(3) 『「ゲストハウス」に泊ってみよう！』インタビュー動画を作成

ゲストハウス等は地域の人々と出会える場所でもあります。利用のイメージが湧かない方に向けてゲストハウスの魅力を伝える動画を作成しました。



(4) 空き家情報ページ『空き家のあれこれ虎の巻！』を設置

空き家バンクへ掲載物件は価格が安い物件が多く、問い合わせも多数いただいています。しかし、メリットだけでなく、デメリットや注意点もあるということを発信するため、分かりやすくまとめました。

わかやまLIFE
WAKAYAMA LIFE



● 県内各地の郵便局長が移住希望者の現地案内を支援します！
～地域案内人として移住希望者の窓口～

県の移住相談窓口『わかやま移住定住支援センター』では、本県への移住促進のため、移住希望者向けに、地域の人に会える「オーダーメイド現地案内」を実施しています。

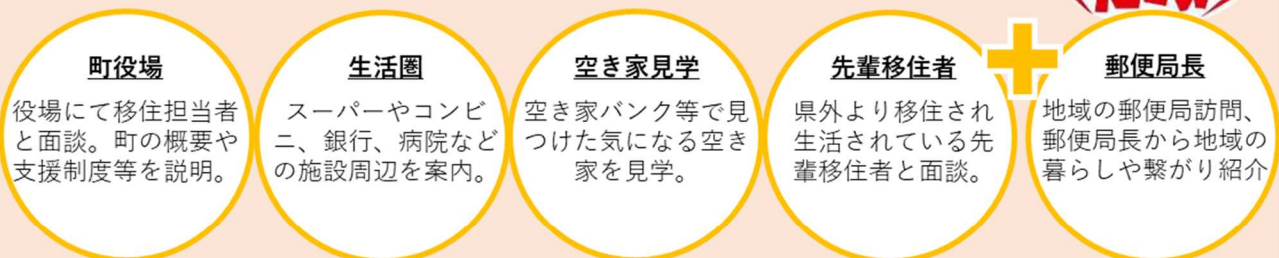
今回、郵便局の協力を得て「郵便局長に会える現地案内」の運用を開始します。地域の暮らしに溶け込み、様々な地域活動にも協力している郵便局長が、“地域案内”と“地域の人との繋がりづくり”を支援します。

また、移住に際して大きな課題となっているのが“住まい探し”です。このため、県内 263 全郵便局に空き家相談リーフレットを設置して、地域住民の方へ空き家相談を呼び掛け、移住者の住まいとして空き家活用にも連携して取り組んでいきます。

1 地域の人に会える「オーダーメイド現地案内」

わかやま移住定住支援センター（和歌山窓口）の移住相談員が、市町村の移住担当者と連携して、駅やスーパー、学校、病院などの生活環境をはじめ、先輩移住者など、地域の“人と暮らし”を希望に応じてオーダーメイドで案内しています。

【具体的な現地案内例】



2 郵便局長の情報紹介

「郵便局長に会える現地案内」の際に、窓口となる県内 8 か所の郵便局長を県の公式移住HP「わかやまLIFE」で紹介しています。

3 空き家相談登録リーフレットの郵便局窓口への設置

県では、空き家等を掘り起こし、地域資産として移住者の受入などに活用できるように、「実家」と「空き家」の活用に向けた相談登録を受け付けています。



窓口への設置イメージ

●和歌山県では初！「ポケふた」お披露目式を開催しました

3月25日に、本県では初の設置となる「ポケふた」のお披露目式を開催しました。

ポケモンマンホール「ポケふた」とは、株式会社ポケモンが、自治体と連携した地域活性化策として展開する、ポケモンがデザインされたマンホールの蓋のことで、市町村へ無償で寄贈され、設置後の管理は市町村が行います。33都道府県に334枚（3月25日時点）設置されており、1つ1つ世界で1枚だけのオリジナルデザインとして作られています。



© Pokémon. © Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.
ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

また、「ポケふた」は、設置後、スマートフォン向け位置情報ゲーム『Pokémon GO』で「ポケストップ」として登場するため、実際に「ポケふた」を訪れ、ゲーム上で「ポケストップ」を回すことで、ゲーム内で使用できる道具を手に入れることができます。

この度のお披露目にあたり、スペシャルゲストとしてポケモンの「ピカチュウ」が登場し、大いに盛り上げてくれました。

多くのファンの心をひきつけてやまないポケモンの魅力と、風光明媚な本県の持つ観光資源が相乗効果を発揮して、より多くの方に本県の魅力に触れていただく機会が創出されることを期待しています。

■県内に設置される「ポケふた」

設置市町村	設置場所	描かれているポケモン
和歌山市	和歌山城前広場	アシレーヌ・レントラー
高野町	高野山観光情報センター	ウーラオス（れんげきのかた）
白浜町	JR白浜駅前歩道	ヤンチャム・ナミイルカ
那智勝浦町	大門坂駐車場	セレビィ
串本町	宇宙ふれあいホールSora-Miru（旧古座分庁舎）玄関前	ピィ・リグレー・ジバコイル

*設置時期等の詳細は各市町村のHPや「ポケふた」公式HP（右QRコード）を御確認ください。



● 県立近代美術館で「土が開いた現代 革新するやきもの」を開催中です

20 世紀後半、第二次世界大戦後の京都を中心に、陶芸によって新たな表現の世界を開拓する作家たちが現れました。

はやしやすお やぎかずお やまだひかる すずきおさむ
林康夫、八木一夫、山田光、鈴木治らは、家業としての製陶にかかわる一方で、やきものの技術を使いながらも、従来の茶碗や花瓶といった実用のための陶器から独立した、独自の表現の可能性を求めて模索を続け、類例のない表現を生み出すに至ります。

それまでになかった作品のあり方として、前衛陶芸や現代陶芸、あるいはクレイ・ワークといった言葉と



林康夫《人体》1950(昭和 25) 陶

ともに試みられてきた表現の世界は、その始まりから 70 年以上を経て、一つの分野を形作っています。

陶芸という長い歴史と伝統のある領域で、新しい表現の創造は決して容易なことではありませんでしたが、土という素材とそれを成形する技法をつきつめ、時に寄り添い、時に反発しながら生み出されてきた表現は、既に歴史的な厚みを持っています。

本展覧会では、前衛陶芸を最初に試みた四耕会から、革新的な作品を生み出す作家たちのよりどころとなった



八木一夫《奇偶》
1973(昭和 48) 黒陶

そうでいしや
走泥社、そして世代を継いで創作を続けてきた作家たちの作品約 100 点によって、やきものが開拓してきた新しい表現の展開の歴史を紹介します。

時代による表現の変遷、素材と形との葛藤、そして個々の作家の持続的な探求を陶による表現の中に見出すことができる展覧会です。

皆さん是非お越しくください。



三島喜美代《パッケージ》1974(昭和 49)
シルクスクリーン、陶

<開催概要>

会 期 4月27日(土)～6月30日(日)

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

休 館 日 毎週月曜日(4月29日、5月6日は開館し、4月30日、5月7日に休館)

入 館 料 一般520円(410円)・大学生300円(260円) * ()内は20名以上の団体料金

* 高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の外国人留学生は無料

* 毎月第1日曜日(5月5日、6月2日)は無料入館日

* 毎月第4土曜日(4月27日、5月25日、6月22日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

●「聖地リゾート！和歌山 モバイルスタンプラリー」を開催中です！

和歌山県を訪れる皆さんに、県内をより一層有意義に観光してもらおうと、スマートフォン等のアプリを使って、県内各地の歴史や絶景、温泉、グルメなどのスポットを楽しみ、学びながら周遊いただける「わかやま・まるごとスタンプラリー」が、この度「聖地リゾート！和歌山 モバイルスタンプラリー」としてリニューアルしました。

アプリをダウンロードし、必要項目を登録するだけで参加でき、獲得したスタンプ数に応じて、抽選で地域特産品等が当たるほか、①②のコースで全てのスタンプを獲得し応募された方には「完全達成者賞」をプレゼントします。

和歌山の観光スポットをストーリー立てで巡ったり、お得なクーポンで巡ったりと、是非「聖地リゾート！和歌山」を御体験ください。

【実施期間】令和7年2月28日（金）まで

【内 容】 テーマ別にコースを設定

アプリのダウンロードは
こちらから▶



コース①：「わかやま歴史物語100」

神話の時代から近代にいたるまで、県内各地の歴史を「100の旅モデル」として紹介。歴史スポットを巡り、悠久のロマンを追体験できるコース。

コース②：「フォトジェニック わかやま」

海・山・川など大地に育まれた自然や文化が満喫できるスポットのほか、思わず写真を撮りたくなるような絶景スポットを巡るコース。

コース③：「お得にわかやまグルメTRIP」

県内のおいしいグルメスポットや泉質豊かな温泉、旅の思い出になるお土産処などを紹介する、約300店舗で使えるお得なクーポンが付いたコース。



●平和酒造株式会社の「平和どぶろく壺ノ濁」「紀土純米大吟醸」が ANA 和酒セレクションに採用されました

平和酒造株式会社（海南市）の「平和どぶろく 壺ノ濁」「紀土 純米大吟醸」が、全日本空輸株式会社（以下、ANA）が機内及びラウンジで提供する和酒（日本酒・焼酎）セレクションに選定され、国際線ビジネスクラスの機内で提供されることとなりましたのでお知らせします。県から ANA への商品紹介をきっかけに、今回 ANA 国際線ビジネスクラス機内での提供に至ったものです。

「平和どぶろく 壺ノ濁」

採用路線：国際線ビジネスクラス（長中距離路線）

期 間：2024(令和6)年5月まで

商品概要：和歌山県産米「にこまる」を100%使用した米と米麹だけのスタンダードなどぶろくです。甘み控えめで様々な食事と相性が良いにこまるがもたらす柔らかな甘みとコクのある味わいが特徴です。



「紀土 純米大吟醸」

採用路線：国際線ビジネスクラス（短距離路線）

期 間：2024(令和6)年6月～8月

商品概要：「紀土」の中でも華やかでフルーティーな香りが特徴の純米大吟醸です。味わいはすっきりとしていて飲みやすく海外でも人気で日本酒初心者の方にもおすすめの 本です。



●「企業版ふるさと納税」で和歌山県の取組を応援しませんか？

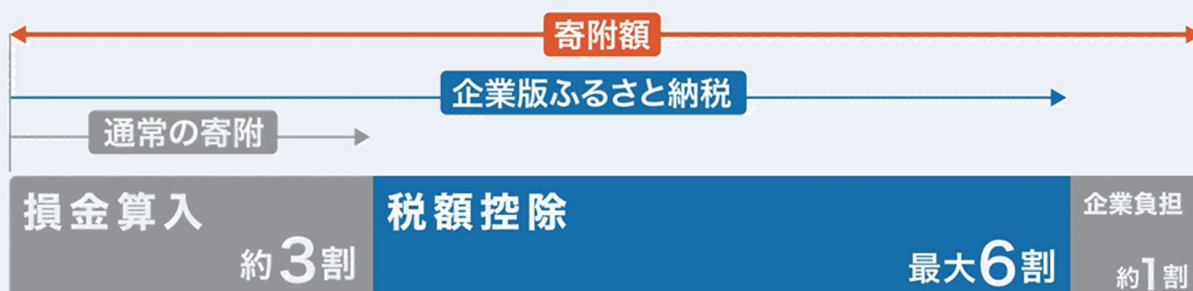
企業版ふるさと納税とは、企業の皆様が寄附を通じて地方公共団体の地方創生プロジェクトを応援した場合に、税制上の優遇措置が受けられるほか、様々なメリットがある仕組みです。

和歌山県では、この制度を活用し県の地方創生の取組を応援していただける企業の皆様を募集しています。

企業版ふるさと納税とは

- 「企業版ふるさと納税」は、国が認定した地域再生計画に位置付けられる**地方公共団体の「地方創生プロジェクト」**(*)を応援するために企業様が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。
*和歌山県の「地方創生プロジェクト」(2024年度)は次ページに掲載しています。
- 損金算入による軽減効果(寄附額の約3割)を含め、最大で**寄附額の約9割にあたる法人関係税が軽減**され、実質的な企業様の負担が約1割まで圧縮されます。

【税軽減のイメージ】



*本制度を活用できるのは、**和歌山県外**に本社がある企業様のみです。

*1回当たり**10万円以上**の寄附が対象です。

*寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

企業様のメリットについて

- 社会貢献に取り組む企業としての**PR効果**が期待できます！
- 企業様と県との間で、**新たなパートナーシップ構築**の可能性が広がります！
- 県をはじめ、地方創生プロジェクトに関わる多様な主体との新たな関係構築の可能性が広がります！

詳細はこちらから

⇒<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/020200/d00204504.html>

お問い合わせ先：和歌山県 地域振興部 地域政策局 地域振興課 地域支援班
TEL：073-441-2426



2024年度和歌山県のプロジェクト一覧

成長志向創業者の育成・支援による地方創生

(概要)

「起業家が起業家を生み育てる」をコンセプトに、成功した起業家が次の起業家を育成・支援

(事業年度)

2022年度～2024年度

大阪・関西万博を見据えた
「新たな旅のスタイル」普及・促進

(概要)

デジタル・アウトドアを主眼にした「新たな旅のスタイル」の普及・促進

(事業年度)

2022年度～2024年度

ポストコロナ時代の若者就職支援による
県内定着・移住促進

(概要)

高卒就職者の県内定着や大学生・第二新卒等のUターン就職による本県への移住を促進

(事業年度)

2022年度～2024年度



わかやま地域の賑わい総合対策プロジェクト

(概要)

ワーケーションの受け入れ強化や、多様なニーズに応じた移住・定住に取り組む

(事業年度)

2020年度～2024年度

最南端から最先端へ！民間ロケット発射場を
核とした地方創生プロジェクト

(概要)

ロケットの打上げ応援イベントの実施や企業と連携したプログラミング教育による高度人材の育成

(事業年度)

2022年度～2024年度

明日へつなぐ持続可能な農林漁業の実現に
向けた好循環創出プロジェクト

(概要)

地域の魚介類、ジビエを地域で消費・利益を還流させる生産と消費の好循環を創出し、農林漁業と地域の持続可能性を高める

(事業年度)

2023年度～2024年度



教育旅行向けほんまもん体験事業者等支援

(概要)

体験型観光事業者の受入体制の強化、安全施策等に資する設備・備品の設置や県外学校等に対する誘客・持続可能な受入環境整備の促進

(事業年度)

2023年度～2024年度



和歌山子どもまんなか社会推進プロジェクト

(概要)

多子世帯向け保育料等の支援や子供食堂への支援等を行い、子育てしやすい環境づくりやこどもの居場所づくりなど、こどもにやさしい社会づくりに取り組む

(事業年度)

2023年度～2024年度



「空飛ぶクルマ」の運航実現に向けた取組

(概要)

「空飛ぶクルマ」の運航実現に向け、離着陸場の適地調査や県内の社会受容性向上のために、県民や事業者に向けた情報発信、実証実験に取り組む

(事業年度)

2023年度～2024年度 (*)



和歌山県まち・ひと・しごと創生推進計画

(概要)

ひとを育む事業・しごとを創る事業・いのちを守る事業・くらしやすさを高める事業・地域を創る事業の実施により、和歌山県の課題改善に取り組む

(事業年度)

2022年度～2024年度



(*) 出典：経済産業省ウェブサイト (https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/robot/181220uamroadmap.html)

●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）の御案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを頂いております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「子育て支援の充実」、「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトを御利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで13,000円以上の御寄附を頂いた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等のうち、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品を是非御堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附に御協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら



ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税



さとふる

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 大亦、山中、西浦

電話 073-441-2186（直通）

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 松場

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

- ①生涯スポーツ・文化の振興
- ②子供たちの教育環境の充実
- ③がん対策の充実
- ④犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援
- ⑤世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用
- ⑥南紀熊野ジオパークの推進
- ⑦地元企業への就職を促進する奨学金返還支援
- ⑧学校図書館や県立図書館の蔵書の充実
- ⑨わかやまの美しい海づくり
- ⑩わかやまの文化財の保護
- ⑪大切なふるさとの森を守り育てる
- ⑫わかやまのナショナル・トラスト
- ⑬わかやまの農林水産業の振興
- ⑭子育て支援の充実



皆様からいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

■寄附金控除の手続きについて（ワンストップ特例申請のご案内）

地方公共団体への寄附（ふるさと納税）については、税制上の優遇措置があります。寄附金額のうち、自己負担額の2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税（復興特別所得税を含む）及び個人住民税から全額が控除されます。

寄附金控除を受けるには、所得税の確定申告又はふるさと納税ワンストップ特例制度の申請が必要です。

* ワンストップ特例申請の場合は、所得税の軽減相当額を含め、個人住民税からまとめて軽減を受けることになります。

和歌山県では、ワンストップ特例申請の手続きを、より簡単・便利に行えるよう完全オンラインでのサービスを提供しています！

マイナンバーカードをお持ちの方は、紙のワンストップ特例申請書・確認書類の提出は不要となり、「自治体マイページ」から即座に申請を完了させることが可能です。

- * 申請にはデジタル庁提供のマイナポータルアプリが必要です。
- * 自治体マイページとは、ふるさと和歌山応援寄附に寄附したふるさと納税に関する情報を一元管理できる寄附者個人の専用ページです。
（自治体マイページは、株式会社シフトセブンコンサルティングが提供するサービスです。）



寄附金控除の手続きやオンラインワンストップ特例の詳細については、「ふるさと和歌山応援サイト」内「寄附金税制について」のページをご確認ください。



イベント情報（5月）

* 最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
5月4日 5月5日	紀州九度山 真田まつり	道の駅「柿の郷 くどやま」芝生 広場 (九度山町)	真田祭実行委員会 0736-54-2019
5月12日	みやこ姫よさこい祭り	御坊総合運動 公園 (御坊市)	みやこ姫よさこい祭り 実行委員会 0738-32-0088
	てとこと市	本町公園 (和歌山市)	てとこと市実行委員会 073-425-8583
	和歌祭	紀州東照宮 (和歌山市)	和歌祭保存会 073-444-0808
5月19日	第36回和歌浦漁港朝市 (おととと広場)	和歌浦漁港駐 車場 (和歌山市)	有限会社ベイサイド 和歌浦 073-446-3308

自然・風物情報（5月）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
～5月上旬	養翠園のカキツバタの 見頃	養翠園 (和歌山市)	養翠園 073-444-1430
5月上旬 ～5月中旬	ぶどう山椒出荷最盛期	紀美野町	海草振興局農業水産 振興課 073-441-3378
5月下旬	龍神村ホタル鑑賞	田辺市龍神村各所	(公社)龍神観光協会 0739-78-2222

～編集後記～

まだ4月というのに、すっかり初夏の陽気が漂う暖かさとなっておりますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。新年度も、引き続き編集後記を担当させていただきますので、本編同様、ご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

今年の和歌山県は、大きな盛り上がりの中で春を迎えました。皆様ご存じのとおり、県立耐久高校と県立田辺高校の2校が選抜高校野球大会に出場、特に春夏通じて初出場の耐久高校は学校創立が1852年ということもあり、全国から大いに注目されました。残念ながら両校とも1回戦で敗退しましたが、満員のアルプススタンドからの応援は迫力満点で、応援団賞の最優秀賞に耐久高校が、優秀賞に田辺高校がそれぞれ選ばれました。皆様の中にも、同級生と肩を組み、声をからして母校を応援された方もいらっしゃったのではないのでしょうか。

さて、春といえば、タケノコや山菜など山の幸が豊富なシーズン。ワラビにゼンマイ、フキにごんぱち（イタドリ）など、少し山に入ればいくらでも手に入れます。しかし、タケノコだけはイノシシとの争奪戦。土から頭を出す前の柔らかいタケノコはイノシシのもので、私たちはイノシシが見逃したものや食べ飽きたあとに残ったかたいものをようやく口にできるという状況で、ここでも鳥獣被害に悩まされています。

それでも、今年も旬の山の恵みをおいしくいただけることに感謝しつつ、こどもの頃は全く見向きもしなかったなあ、などと思い起こしながら、着実に年を取っていくのを実感している毎日です。

今回も最後までご覧いただき、ありがとうございました。

知事室 秘書課長 津井田 一陽



★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、是非ご覧ください。

和歌山だよりに対する御意見・御感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報を御提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等をお願いします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp



県ホームページ
QRコード



ふるさと和歌山
応援サイト QRコード

2024年（令和6年） NO.182

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。

